



生駒市立鹿ノ台小学校

鹿小だより

令和 5年 1月 27日

第 20 号

<お悔み>

第6代校長の奥畑栄一氏が12月末日に亡くなりました。平成13年4月1日から平成16年3月31日まで3年間、鹿ノ台小学校に在職された校長先生です。突然の訃報で大変驚いています。ご冥福をお祈り申し上げます。

<お年玉はどうしますか？>

冬休みに祖父母や親戚の人からたくさんお年玉をもらったのだろうと思い、低学年児童に聞いてみますと、「紙のお金をおじいちゃんとおばあちゃんからもらったよ。」という返事が返ってきました。「紙のお金というのはいくらなの?」「分からん。でも、買い物に行って、お釣りをパパやママからもらって、お財布がパンパンになったから、すごくうれしかった。」と言い、紙のお金がいくらのお金なのかは全く興味がない様子でした。小さい子どもたちは、紙幣よりも使い勝手が良いコインに存在感があり、手ごたえや重量感で幸せな気分になれるのかなと思いました。大人の私たちでは思いもよらない回答に、正直、驚いています。



<特別支援学級担任が交替します>

しかのだい学級担任 堀江瑞歩 が産前休暇に入りますので、代わって 庄田萌夏 が担任を務めます。

本校教員の欠員は、現在、少人数学級担任1名と特別支援学級担任1名の合計2名です。全国的に教員不足の状況ですが、教員を退職された方や、免許は持っているがしばらく教職を離れておられた方に、どうか本校の教育活動を助けていただきたく思いますので、お知り合いの方でそのような方がいらっしゃいましたら、お声掛けください(裏面にもその案内があります)。よろしく願いいたします。なお、少人数指導は3年生と4年生の算数指導です。

<1/13 4年生が車いす試乗体験をしました>

最近では病気や怪我、それから長寿で車いすを使用される方が多くなりました。本校にも事故等の時に使えるように、車いすを設置しています。また、階段昇降機もあり、車いすで階上や階下に行く時に使用できるようにしています。



車いすは少しの段差が非常に困難な障害物になります。特に車いすが前に傾くことは、使用者の前方への転落を引き起こします。そこで、①車いす利用者としての視点を持つこと、②車いすの補助について正しい知識を持つこと…をめあてにした体験学習を行いました。体育で使うマットの厚みがどれほど難しい段差であるかを子どもたちは分かったようでした。

教えていただいた方は「この講習を受けた後、子どもたちには車いすとその利用者が目に留まるようになります。そして世の中で思いやりの心を学んでいくのです。」と述べられています。

<心もち募金に協力してくださってありがとうございます>

50年以上も生駒市で続く「心もち募金」運動を、今年も実施しました。昔はお年玉を餅で渡しましたので、この募金には、「心のこもったお年玉(餅)を贈る」という思いが込められています。生駒市の子どもたちは、お年玉を生駒市の社会福祉のために使ってもらおう取組を長



年続けてきました。

本校は1/20(金)から3日間の募金活動を実施しました。集まったお金は、生駒市社会福祉協議会に持って行きます。

<家で眠らせている教員免許状、生駒の学校で活かしませんか？>

市内の小中学校では、特別支援教育支援員や学校ボランティアをされていた方や、卒業生の保護者の方が新たに講師として学校で勤務されています。そこで、小中学校での講師等の就労相談会を実施しますので、教員免許を持っているが現在は教職に就いておられない方、是非ともご参加くださいますよう、よろしく願いいたします。(詳細は以下のページを参考)

<https://www.city.ikoma.lg.jp/0000031548.html>

